

# ふれあい

平成30年4月 第382号  
 大代地区コミュニティ推進協議会  
 ( 広 報 部 )  
 事務局：大代地区公民館  
 TEL 022-364-8442  
 fax 022-364-8453

### 掲載目次

- 子ども交通安全教室・・・・・・・・・・ 2
- 緊急避難路・中南部下水道事務所見学 2
- 夫婦駐在所生活を一年経て・・・・・・・・ 3
- 『お世話にまりました』・・・・・・・・ 4
- 平成30年春の交通安全市民運動・・・・・・・・ 4
- 記帳所設置に係る記帳御礼・・・・・・・・ 4
- 記事投稿の御礼・・・・・・・・・・ 4



## 子ども交通安全教室



## 緊急避難路及び中南部下水道事務所見学

## 子ども交通安全教室

生活安全部長 松戸 勝義

3月25日(日) 新1年生を主対象に子ども交通安全教室を開催しました。参加した子どもの総数は、60人でその内新1年生は、20人でした。開催にあたり、熱海会長から挨拶があり、その後、協力団体(交通安全協会、交通安全母の会、防犯協会、見守りの方々)の紹介、塩釜警察署交通課の千葉係長による講話と横断歩道の渡り方を教えて頂きました。協力団体の方々には、できるだけ子供達に顔を覚えて貰うよう、実技の際にも横断時の旗振りをして頂きました。また道路の渡り方で大代駐在所の鈴木所長、副所長さんも加わって正しい横断歩道の渡り方について教えて頂きました。上級生の子供達が下級生を面倒見て、先頭に立って、正しい横断歩道の渡り方を教えてもらいました。

次に、子供会が主体となつて、本の読み聞かせ、みんなで楽しむクイズゲーム、新1年生の入学祝行事を行いました。本の読み聞かせでは、南区にお住いの木皿さん他1名の方で楽しい絵本のお話をして頂き、子供達は、お話に夢中になつて最後まで真剣に聞きいっておりました。

○クイズもみんな楽しく取り組んでおり、正解を聞くと大きな歓声を上げておりました。最後に新1年生をお祝いする行事として、みんなの前で自己紹介をしてもらいおみやげとメダルを授与しました。

閉会にあたり、藤原副会長から激励と地域活動への協力について話して頂きました。全日程終了後、子供達全員におみやげを配つて見送りをしました。子供達の喜んだ顔を見て、いろいろ準備で大変でしたがやつてよかった、内容的にも満足できるのではないかと思います。

各区子供会の方々、ご協力ありがとうございました。また次年度も開催したいと思つておりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



## 緊急避難路及び

## 中南部下水道施設の見学会を実施して

大代地区防災協議会

会長 米澤 まき子

大代地区防災協の今年度最後の事業として、3月13日(火)、17名の参加を得て、緊急避難路・物流路「笠神・八幡線」(現在工事中の桜木地区く多賀城駐屯地西側く多賀城高校に至る道路及び橋)及び宮城県中南部下水道事務所の施設(浄化汚泥処理施設、消化ガス発電設備)の見学会を実施しました。(写真参照)これらは、大代地区にとつて災害発生時とはもとより通常時においても密接な係わりを持つ道路、施設であることから、今後も維持管理に万全を期して頂きたいと思っております。ご参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。

また、今回の見学会に際し、対応して頂いた多賀城市役所及び中南部下水道事務所の職員の方々には、心より感謝申し上げます。

(参加者感想)

3月13日(火)に、緊急避難路(笠神八幡線)の説明会並びに中南部下水道事務所(下水処理施設及び消化ガス発電所)の見学を行いました。

大代地区公民館前に集合し、桜木の緊急避難路前で多賀城市職員から説明を受けました。



津波浸水エリアからの避難路として機能するこの笠神八幡線は、全長1・5キロの長さで着工され、桜木地区から多賀城高校の近くまで、整備されることが伝えられました。

続いて、中南部下水道事務所に向かい、施設の説明と、仙塩浄化センター消化ガス発電所の見学を行いました。初めに会議室で施設の概要と、汚水の浄化までの仕組みについて説明を受けたのち、消化ガスの売電事業の視察・説明を受けました。

下水から不純物を取り除き清潔な水になるまでの過程では、大きな役割を占めるのが微生物であり、最終的には、微生物も取り除き、川に流されるとのことでした。



消化ガスについては、下水の処理工程で発生する消化ガスの3割は焼却処分していましたが、この3割も発電業者に売電し、有効利用するというものでした。

限りある資源なので、どのようなものでも有効に活用できるのは素晴らしいことだと感じました。発電機には、宮城県及び流域5市のキャラクターがプリントされており、多賀城市の「たがもん」もプリントされています（右の写真の下）。

今回の研修には併せて17名の方が参加しましたが、各々が疑問に感じたことを質問し回答をいただきました。ありがとうございます。

身近な施設の見学には、これからも参加し、学んでいきたいと考えています。

## 夫婦駐在所生活を一年経て

駐在所長 鈴木 佳央梨

右も左も分らずに主人と共に赴任した塩釜警察署大代駐在所でしたが、早いもので一年が経過致しました。

県警初の警察官夫婦の駐在所として新聞などで取り上げて頂いたり、地域の行事に参加させて頂いた結果、地域の方々から「夫婦駐在所、頑張ってるね。」「応援してます。」「などと温かい言葉を頂くことが多くなりました。

しかし、前所長の武田さんの認知度や地域との関わり合いには到底及んでおりません。

ですから、これからも前所長に追いつくように夫婦で街頭活動を積極的に行い、これまで武田所長が地域の方々と共に作り上げてきた「地域の安全・安心」をより一層守っていけるように努めたいと思っています。

また、私は駐在所勤務となってから、ご飯を作る機会が増えた（前勤務地では、恥ずかしながら、外食が多かった）ため、料理のレパートリー不足に悩んでいる今日この頃でございます。

## 『お世話になりました』

「川村さん、震災の後遺症で大代地区公民館の利用者が減り淋しくなっている、川村さんのネットワークを駆使して元気づけて欲しい、予算は20万ある…」という市担当者からの電話が、大代地区公民館に5年4ヶ月お世話になるきっかけとなりました。

早速、子どもたちのサッカースクール、高齢者対象のウォーキング、ヨガ及び太極拳からスタートし、ポールを使うノルディックウォークでは県内散策路を歩くオリジナルコースを設定し、貸切バスの利用も取り入れました。

震災復興健康事業の目玉として（公財）

日本健康体力づくり事業財団から3カ月に及ぶ「貯筋運動教室」事業を受託したことは、「はつらつ健康クラブ」設立のきっかけとなり、ミニスポーツクラブとしての活動をスタートさせることが出来ました。

また、公民館在任中は一日も病気で休むこともなく、得意な分野の仕事に集中させていただきましたことは、伊藤館長はじめ公民館同僚の皆さんや協議会の皆さんのご協力があればこそと深謝申し上げます。

現在進行中の子供たちのサッカーとチアダンススクール及び高齢者対象の「はつら

つ健康塾」と「はつらつウォーク」はクラブ事業として継続しますので、今後も公民館や緑地公園でお会いする機会は多々あると思いますが、改めて地域コミュニティの皆さんのご参加とご協力をお願いいたします。

皆さんのご健康とご発展をお祈りし退職のご挨拶といたします。

『大変お世話になりました』

平成30年3月吉日

川村 安雄

3月31日をもって、大代地区公民館事務局員の川村安雄が退職となります。

## 平成30年春の

### 交通安全市民総ぐるみ運動

塩釜地区交通安全協会

多賀城東部支部長 伊藤 勇

春暖の候、皆様におかれまして、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。常日頃当会の発展のため、ご尽力いただいております。深く感謝申し上げます。

さて、平成30年4月6日(金)から4月15日(日)までの10日間、春の交通安全市民総ぐるみ運動が始まります。交通事故に気をつけて安全運転でお願いいたします。

## 3・11 大代地区公民館

### 記帳所設置に伴う記帳御礼

平成30年3月11日、大代地区公民館に設置しました、東日本大震災犠牲者の慰霊の記帳所に今年度も多くの方に「記帳にいただきました。御礼申し上げます。

### 記事投稿の御礼

広報部長 佐藤 聰子

平成29年度中も多くの記事をご投稿くださいましてありがとうございます。

おかげさまで、29年度も毎月発行し、皆様にお届けすることができました。まだ少し先ではありますが、31年度中には広報「ふれあい」が400号に到達します。30年以上発行し、東日本大震災での一時休載もありましたが、長い年月、皆様へ地域の情報を発信してきました。今後も継続して発行してまいります。今後も継続して発表するには皆様の投稿が不可欠となります。今後も紙面に目を向けていただき、記事の投稿をお願いいたします。